

# 「水道スマホ検針システム」

## 岡山県美作市が初めて導入

### 2月の本稼働に向けて操作研修

三菱電機グループの情報システムサービス企業・(株)ビーシーシー(福山市光南町3-6-10、関谷 洋社長、電084・921・2477)が中国地方の自治体を中心にサービスを提供している「水道スマホ検針システム」を岡山県美作市が初めて導入することになった。

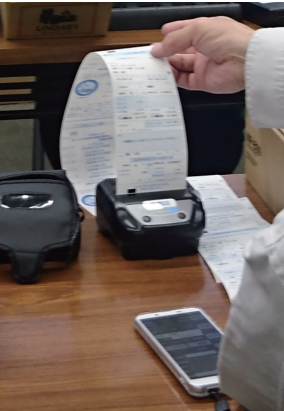
2月の本稼働に向けて昨年12月から担当職員に操作研修を実施。参加した職員は、スマホによる一連の操作やプリントテストを入念に確認し、新システムへの期待を膨らませていた。

今回、スマホ検針システムは44台を導入。特長は①従来の水道検針機器「ハン



職員研修風景 (操作研修)

ディタミナル」と比較して、軽量で視認性が良く職員の負担が軽減される②入力やエラーの内容を音声で読み上げる機能によりミス防止を図ることができると、などがあげられている。



同 (プリントテスト)

同社では、スマホ検針による業務効率化を関係自治体に今後もアピールしていく方針。